



御題

御題

御題

3028



9 10

1 2 3

JAPAN

4 5

6 7

8 9

20

1 2

3 4

5 6

7 8

9

へ13  
3028

天保五甲午肇春  
發版新繪冊子  
大加堀  
四方面五伴太



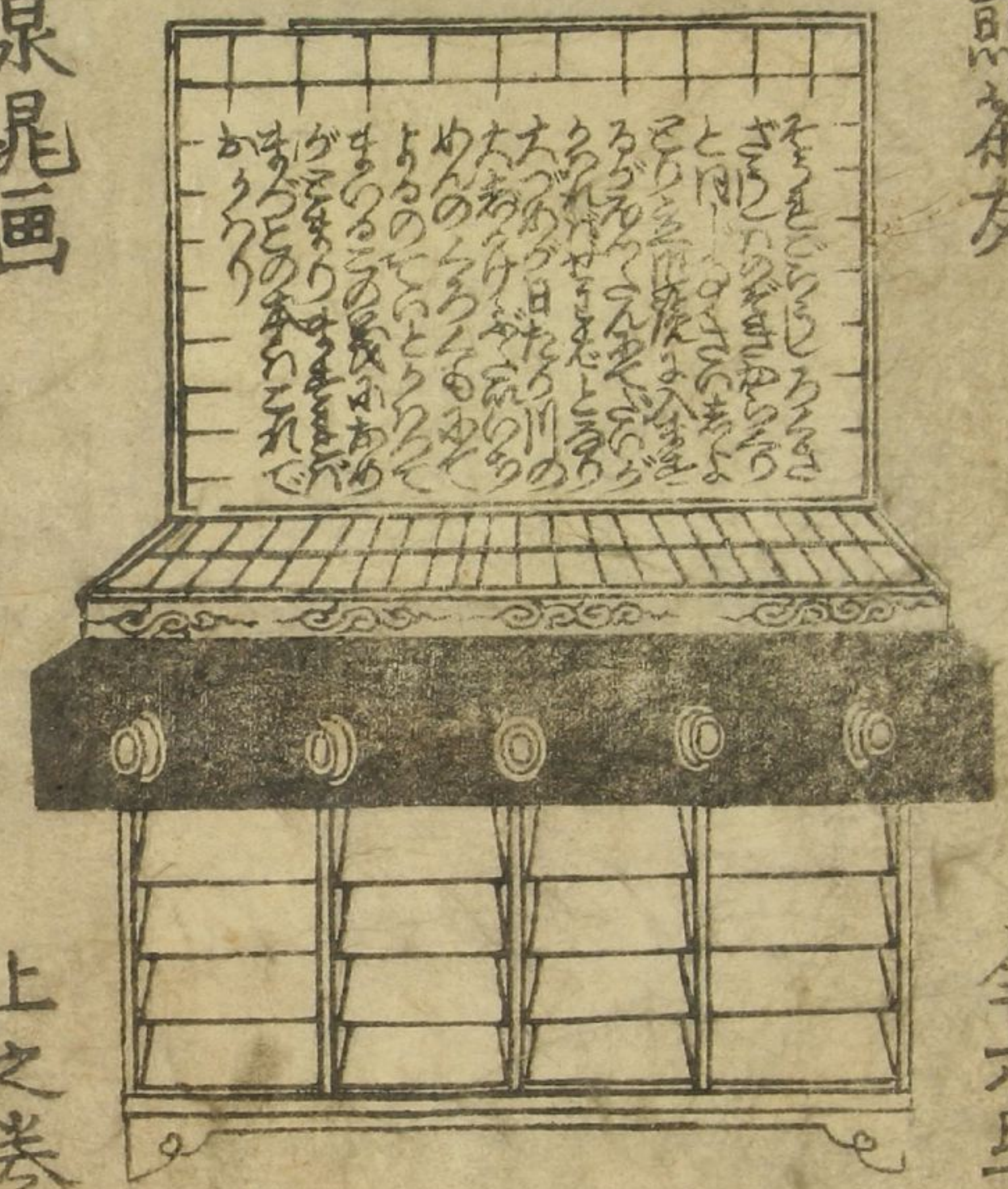
墨川部器麻作

いふ人宇治拾遺隆國卿の宇治の暑気避めひく。往來の人々貴き賤  
きを撰ぎて召集め昔物語とせき勢つ。語る不隨ひ其結成双紙の  
書を残して是宇治拾遺物語とせ世俗の知處あるその物語  
けの「唐卒都婆安舟村事」との二條を筋ふそりて  
巻の前次茶友と思ひ付くその延鏡  
うろひくを ままうけ  
移は日數も玉櫛前  
二年

へ13  
3028

宇治拾遺煎茶友

雪麻呂作泉晁画



上之巻

全六号

板屋野佐春之午



三坂 とさか  
 を  
 藤代屋 ふじしろや  
 奇藏 きざう  
 とおの  
 道の みちの  
 は  
 髪結 かみむす  
 才三郎 さいざうらう



白子屋 しろこや むまろ 阿駒 あこま  
 おれも おれも  
 才三郎 さいざうらう  
 友代乃 ともしろ  
 女 め



別わかの  
 乃の新しん寺じ  
 杖つえ

同おな丁ぢやう推おし

吳ご松しょう

白あ子ら屋の  
 下げ女ぢよ  
 於お隈ま



風かぜ

白あ子ら屋の飯め焚き  
 丈ぢやう八はち







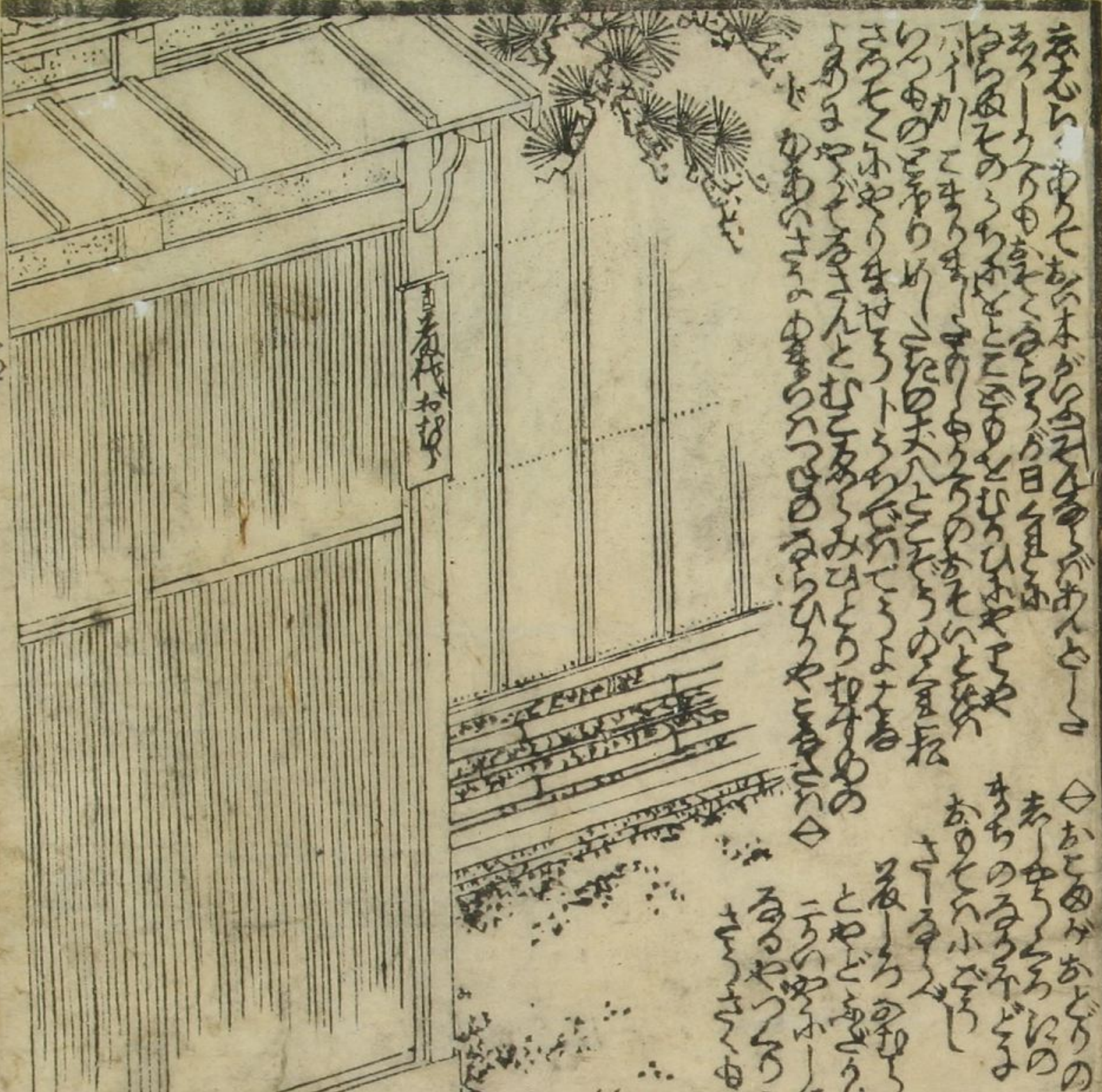












〇此のまじりたるやうにのちのちゆえ  
 ねたまのまじりたるやうに白  
 子やのちのちゆえにさ  
 〇此のまじりたるやうにのちのちゆえ  
 ねたまのまじりたるやうに白  
 子やのちのちゆえにさ

〇かこのめがあどりの  
 ありやうにあらはの  
 ありのちのちゆえに  
 ありのちのちゆえに

〇此のまじりたるやうにのちのちゆえ  
 ねたまのまじりたるやうに白  
 子やのちのちゆえにさ



〇此のまじりたるやうにのちのちゆえ  
 ねたまのまじりたるやうに白  
 子やのちのちゆえにさ

泉昆画雪麻呂編































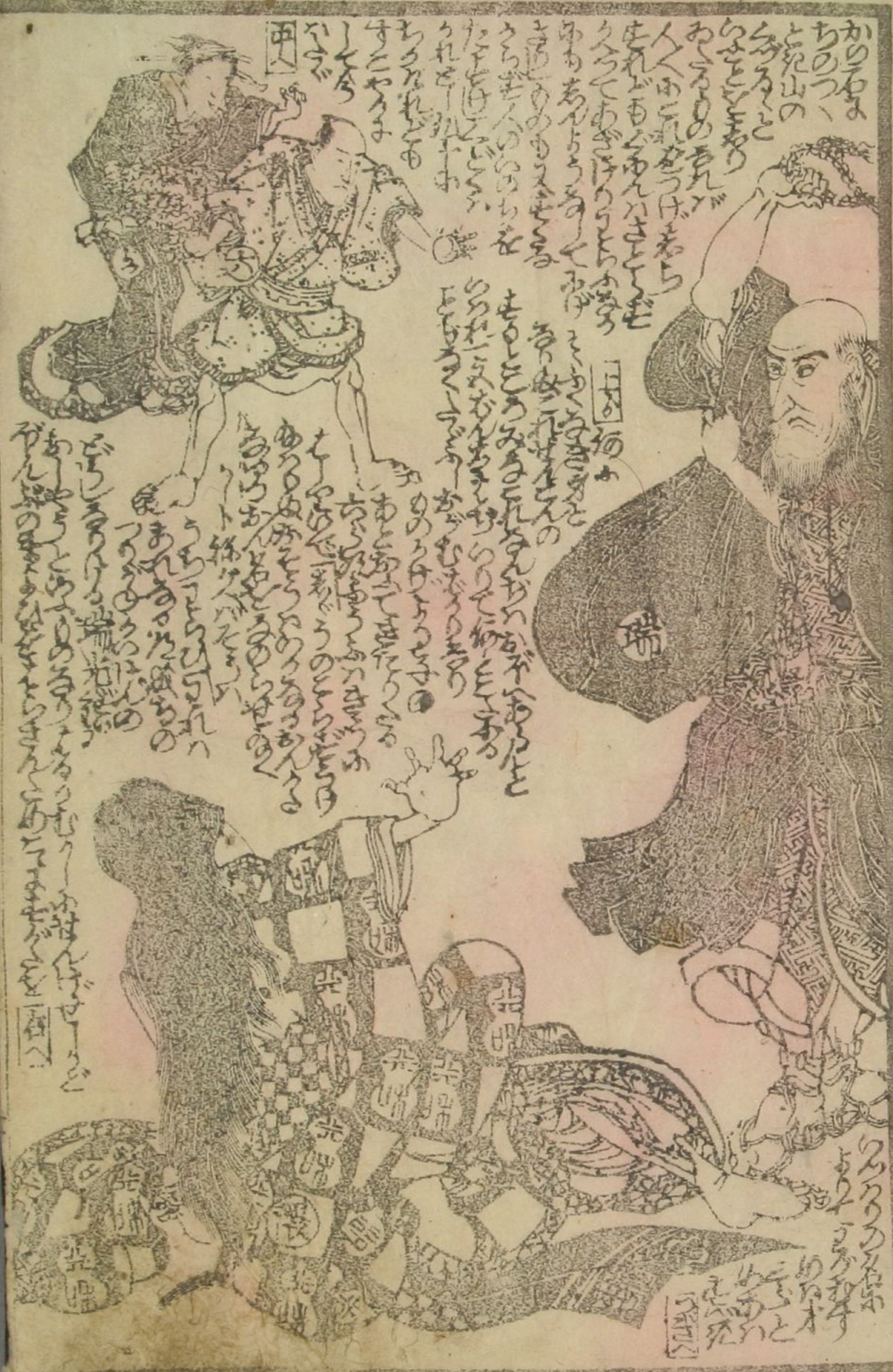












傾城三國志四編八冊  
墨川亭雪磨作  
香洲國貞畫

阿組洗鹿子新縁江戸染四冊  
阿組のしんぐのこゝろ  
物節

今昔倭説北死四冊  
今昔のやまと  
貞斎泉晃画

西國月夜神樂三編六冊  
西國のつきよ  
奇談  
五柳亭徳年作  
溪斎英泉画

宇治拾遺前茶友六冊  
宇治のあつた  
墨川亭雪磨作  
貞斎泉晃画

美艷山香油美香  
坂本氏製

墨川亭雪磨作



青鳥亭泉晃画

松若梅若繪兄弟對白無垢六冊  
松若のあけ  
梅若のあけ  
歌川國芳画

梅松論竹取物語八冊  
梅松のわらわん  
貞斎泉晃画

能優新樂屋通  
能のうま  
似顔  
新樂屋のあけ  
杏蝶樓國貞画

東千代命御進物御箱合繪半切  
東千代のあけ  
繪半切

問屋喜鶴堂  
芝神明前三嶋町角

佐野屋喜兵衛板





